

## 田辺団地周辺の道路整備を 今年度、測量設計を実施

増富 理津子 議員(共産党)



道路整備とバリアフリー化が必要な府営田辺団地周辺の歩道

保健福祉部長 更新認定者58名中、今度より軽度認定が12名。国の特別措置により、受けるサービスは変わっていない。国の検証がでるまで今のまま続ける。新規認定者は同じ心身状態でも、更新認定者より介護度が軽く認定され、サービスが削減される。3月議会で「子ども医療費助成の拡充を求める決議」が可決された。市長は決議をどのように受け止め、進めるのか。市長 市民ニーズの高

## 図書館開館時間の延長を 市民ニーズを研究し対応

次田 典子 議員(無党派)

①図書館をもっと市民の利用しやすいように改善すべきだ。駐車場の整備や玄関から駐車場までの屋根の設置、図書館ポランテアの拡充、開館時間や開館期間の拡充、2階会議室の有効利用などを早急に実現するべきだ。 教育部長 開館時間などの延長は職員体制から難しいが、20時まで開いている近隣の様子も踏まえて市民のニーズに対応していきたい。雨よけ屋根については研究する。②アルプラザにある女性交流支援ルームのあり方を早急に見直すべきだ。人目につく場所と相談にも行きにくく、DV被害者の安全も守れない。公的施設に女性センターをつくるべきだ。 市長 支援ルームが現状でいいとは考えていない。利用者の声などを聞いて改善したい。③JＲと近鉄のホームに転落防止柵を設置し、視覚障害者の安全を図れ。安心まちづくり室長 転落防止柵は費用面や乗り入れ車両の扉位置の違いなどで設置は難しい。転落防止装置はJＲほぼ全て、近鉄の79%に導入済みだ。④ポランテアを促進するための施策をとるべきだ。ポランテア料金を支払ったり、人口の多い北部にもポランテアセンターなどの拠点を



中央図書館玄関から 駐車場へ続く専用通路

い子育て支援策だと認識。議会決議を重く受け止め、前向きに検討する。⑤河原保育所の整備とともに、北部での新しい保育所設置が言われているが、進捗状況は。また一時保育は、定員が現在15名。定員拡大を望む声が多く、充実の検討を。保健福祉部長 北部での新しい保育所設置は、候補地も決めて交渉中。できるだけ早い時期に具体的な計画を示したい。また一時保育については、次世代育成行動計画改定へ、ニーズ調査を実施。その結果もみて検討する。⑥集中豪雨などによる内水氾濫に備えた具体的な対策の一つとして、川

設けるなどしてはどうか。保健福祉部長 各地域ごとの拠点作りは今後の課題だと考える。⑦大学生の犯罪や、学生の交通事故が増えている。大学当局との連携強化を図るべきだ。安心まちづくり室長 同志社大学や女子大学側

も警備員などを配置して安全確保に努めている。⑧市内でも見守りも含め、約70件のぼと推測される児童虐待を防止するキャンペーンを充実せよ。保健福祉部長 地域全体で子どもを守る風土づくりをめざす。

## 第二京阪 周辺の土地活用は 地域住民の利便性に配慮

鈴木 康夫 議員(一新会)

①田辺パーキング事業の環境対策は万全か。建設部長 第二京阪全線供用開始時期(平成22年3月)にあわせ、運行できるよう協議中である。排気ガス等の環境基準値を遵守すると聞いている。②周辺の土地活用は。建設部長 地域住民の利便性に配慮した商業地域にふさわしいまちづくりが重要と考え、京阪に加入は厳しいのでは。市民部長 国保加入1年という要件は、他の市町村を調査し、検討する。③高速バス運行の見通しは。建設部長 第二京阪全線供用開始時期(平成22年3月)にあわせ、運行できるよう協議中である。導入に向けてのAET(英語指導助手)の活用と教員の研修計画は。教育部長 本年度より小学校9校に対して、AETを1名配置し、実践的活動を展開している。松井ヶ丘小学校の文科省実践研究授業の委託を受



建設が進む第二京阪 田辺パーキングエリア

④サラーマン退職直後者にとって、人間ドック受診助成の要件である1年以上の国民健康保険加入は厳しいのでは。市民部長 国保加入1年という要件は、他の市町村を調査し、検討する。松井ヶ丘小学校の文科省実践研究授業の委託を受

河田 美穂 議員(公明党)

人分備蓄し、さらに2カ年計画で30万人分増やす計画。リレンザは1万8500人分が間もなく入手される。②小児のインフルエンザ予防接種の助成をしてはどうか。保健福祉部長 国の予防接種法に位置づけられていないことから、現在のところ助成を行う考えはない。③歯科検診の受診率を上げるにはどうすればよいか。保健福祉部長 市民の意識向上を図るよう一層の啓発に努めたい。④小学生の歯科医療の

## 災害対応型自動販売機を 新たな設置場所を検討

①インフルエンザ対策のタミフル、リレンザ等の確保はできているのか。危機管理監 タミフルは京都府が21万6000



緊急事態に備えた 災害対応型自動販売機

「きょうたなへ検定」創設を提言する。経済環境部長 先進地域の検定実施状況等を調査する。市長 産官学連携という点では、Diegg内で表彰される企業がでてきた。今後も市民を含めた全員野球のまちづくりを努めていきたい。を考える取り組みをしてはどうか。教育部長 今後子ども福祉課と連携して、命の大切さについて考える機会を学校外の社会体験も含めて広く考えたい。⑦公共施設のトイレの整備・改修について市の考えは。総務部長 施設の新設改修等に含ませて順次バリアフリー化に取り組んでいる。ペピーチエアはまず市役所庁舎から設置に向け、前向きに検討。⑧公共施設に災害対応型自動販売機の設置を増やす考えはあるのか。危機管理監 新たな設置場所を検討しながら、設置していくことを考えたい。